【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公開番号】特開2014-197234(P2014-197234A)
【公開日】平成26年10月16日(2014.10.16)
【年通号数】公開・登録公報2014-057
【出願番号】特願2014-145737(P2014-145737)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　21/00　　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/08　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　21/00　　５３８
Ｇ０３Ｇ　15/08

【手続補正書】
【提出日】平成26年9月25日(2014.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
トナーを収容する現像容器と、該現像容器の開口部から外周面の一部が露出することで像担持体に対向配置され、前記像担持体にトナーを供給する現像ローラーと、を有する現像装置と、
前記現像容器の開口部の近傍に設けられる吸引口に連通するダクトと、
該ダクト内に空気流を発生させて前記吸引口及び前記ダクトを通過した空気を装置本体の外部に排出する第１ファンと、
該第１ファンによって発生した空気流とともに前記ダクト内を通過したトナーを捕集する集塵部と、
前記ダクトの途中に設けられ、空気流とともに通過するトナーの一部を貯留可能な連結部と、を備え、
前記連結部は、前記連結部の本体に対して開閉可能な蓋部を有し、
前記蓋部には、前記連結部内の空気を前記蓋部側に吸引して前記連結部の外部に向かう空気流を発生させる第２ファンと、該第２ファンによって発生した空気流とともに前記連結部内を通過するトナーを捕集するフィルターとが設けられることを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記ダクトは、前記吸引口に連通し前記現像容器の長手方向に沿って設けられる第１ダクトと、該第１ダクトに対して屈曲して延び前記集塵部に連通する第２ダクトと、を有し、
前記連結部は、前記第１ダクトと前記第２ダクトとの屈曲部の近傍に配置されることを特徴とする請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項３】
前記連結部は、前記ダクト内の断面積が他の部分に比べて小さい部分の近傍に配置されることを特徴とする請求項１に記載の画像形成装置。